

日本学術振興会
炭素材料第117委員会
第316回委員会議事録

1. 日 時 平成27年11月20日(金) 9:30~17:00
2. 場 所 産業技術総合研究所臨海副都心センター 本館第一会議室
3. 出席者 42名(順不同・敬称略)
- 委員長： 川口雅之(大阪電通大)
- 副委員長： 藤本宏之(大阪ガス)
- 主査： 尾崎純一(群馬大)、豊田昌宏(大分大)、児玉昌也(産総研つくば/代理：曾根田靖)、上野貴博(日本工大)
- 幹事： 稲垣道夫(北海道大名誉)、安田榮一(東工大名誉)、塩谷正俊(東工大)、丸山純(大阪市工研)、小林知洋(理研)、棚池修(産総研東北)
- 委員： 塩山洋(産総研関西)、飯島孝(新日鐵住金)、岩下哲雄(産総研つくば)、蛭谷玄太(クアーズテック)、園部直弘(クレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパン)、橋爪剛(オイレス工業)、忠政明彦(パナソニックエコソリューションズ)、福田哲生(新日鐵住金化学/代理：川野陽一)、羽鳥浩章(産総研つくば)、宮嶋尚哉(山梨大)、向井紳(北海道大)、森田純子(東洋炭素/代理：森下隆広)、山下良(新日本テクノカーボン/代理：武藤剛範)
- 委員外： 清原健司(産総研関西)、坪田敏樹(九州工業大)、菱山幸宥(東京都市大名誉)、吉澤徳子(産総研つくば)、山田能生(産総研つくば)、入澤寿平(名古屋大)、白石壮志(群馬大)、中村和正(福島大)、森田登(電動機・ブラシ技術研究所)
- 同伴者他： 兒島勇(タンケンシールセーコウ)、川村良一(タンケンシールセーコウ)、大國友行(東洋炭素)、太田直人(東洋炭素)、松尾吉晃(兵庫県立大)、福田直紀(日本工大)、加登裕也(産総研つくば)、Chen Ming Ming(大分大)、Ljubisa Radovic(Penn State Univ.)

4. 本委員会議事経過

4-1 前回議事録の承認

- ・ 第315回委員会議事録(案)の確認と承認を行った。
- ・ A, B, C, D分科会議事録(案)について、確認と承認を行った。

4-2 117委員会関連報告

(1) 委員長報告など

① 会員異動

- 新規委員推薦 : 長野高専・押田京一様
(兼・日仏セミナー特任幹事、委員外登録より身分変更)
: 千葉大学・加納博文様 (新規入会)
- 委員交代 : 産総研関西 塩山洋様 → 清原健司様 ※H28年4月より
- 新規委員外登録 : 東北大・干川康人様、群馬大・石井孝文様 (以上、前回発表者)
- 社名変更 : コバレントマテリアル → クアーズテック
(委員: 蛭谷玄太様)

②平成28年度年間計画について

下記の通り、委員会を計画中。なお、近年、大学の事情で早期の会場確保が難しいことから、正確な情報は決定次第ホームページなどで再度アナウンスする。

- ・ 第317回: 平成28年4月15日(金) @東京都市大学世田谷キャンパス (予定)
- ・ 第318回: 平成28年7月 ※調整中
- ・ 第319回: 平成28年9月8日(木) @大阪電通大
※翌日9日は同場所で日仏セミナーを開催
- ・ 第320回: 平成28年11月 ※調整中

③今後の特別事業計画について

- ・ 昨日(11/19)に平成27年度特別講演会を盛大に開催できた。
- ・ 来年度は、9月9日(金)に日仏セミナーを、大阪電通大を会場として開催する。フランスから Dr. Claire Herold 他、3、4名を招く予定。9日には懇親会も予定している。日本側講演者など詳細を実行委員により今後検討し、4月にはより詳細な計画をアナウンスをしたい。なお、前日8日は通常の委員会を同じく大阪電通大で行う。
- ・ 第6回日独合同シンポジウムを再来年・平成29年秋に関西地区で開催予定である。

④炭素材料学会での委員会紹介

第42回炭素材料学会年会(関西大学)において、初日の12/2の12時より10分ほど、各セッション会場3箇所において、117委員会の紹介コーナーを設けてもらうことになり、ABC主査が各会場同時進行で委員会の宣伝と勧誘のプレゼンを行うこととなった。

(2) 分科会資料(発表順)

- 117-316-B-1 シームレス活性炭電極を用いた EDLC の劣化解析
(群馬大・理工) ○白石壮志、神谷研、遠藤有希子、(アイオン) 塚田豪彦
- 117-316-B-2 イオンビームによるグラッシーカーボン担体の格子欠陥を利用した白金ナノ微粒子触媒の作製
(東大) ○木全哲也、(原研) 八巻徹也、山本春也、(東大) 寺井隆幸、(原研) 箱田照幸、(理研) 小林知洋
- 117-316-B-3 高容量・高出力なグラフェンライクグラファイトの合成と特性
(兵庫県立大) ○松尾吉晃、橋口克樹、丸山舜也、谷中淳一
(日本電気) 程騫、岡本穂治、田村宣之、村上朝夫
- 117-316-A-1 新カーボン用語辞典・炭素関連Ⅱ報告資料
(東工大名誉) ○安田榮一、(元東海カーボン) 浴永直孝、(群馬大名誉) 大谷朝男、(元神戸製鋼) 西澤節、(産総研つくば) 羽鳥浩章、(元産総研) 山田能生

- 117-316-A-2 新カーボン用語辞典 討議資料・炭素関連Ⅲ
 (東工大名誉) ○安田榮一、(元東海カーボン) 浴永直孝、(群馬大名誉) 大谷朝男、(元神戸製鋼) 西澤節、(産総研つくば) 羽鳥浩章、(元産総研) 山田能生
- 117-316-D-1 米国など依然として続々生産される中大形直流機とそのフィールドサービス体制から見てきた海外回転電機メンテナンス動向および“GE の製品に見るディーゼル機関車発展の系譜”
 (電動機・ブラシ技術研) ○森田登
- 117-316-D-2 金メッキスリップリングと銀黒鉛質ブラシの摺動における接触電圧降下とブラシ摩耗の関係
 (日本工大) ○福田直紀、上野貴博
- 117-316-C-1 Highly Conductive Nanoporous Carbon from Amphiphilic Carbonaceous Material with Graphite Oxide
 (Tianjin University¹, Oita University²) ○MM Chen^{1,2}, PP Chang¹, K. Matsumura², T. Kinumoto², T. Tsumura², CY Wang¹, M. Toyoda²
- 117-316-C-2 Toward a Mechanistic Unification of Oxygen Transfer Processes on the Graphene Surface
 (Penn State Univ) ○Ljubisa R. Radovic
 ※特別招待公演として開催
- 117-316-A-3 グラファイトのSlonczewski-Weiss-McClure modelにおけるk空間ジオメトリ (Ⅱ)
 (東京都市大名誉) ○菱山幸宥、鎗木裕

4-3 その他報告事項

(1) 炭素材料学会近況報告

※尾崎主査 (学会運営委員長) より学会運営について以下の報告があった。

- ・ 学会会員数の状況が報告された。若干減少傾向であり、運営側として危機感を持っている。
- ・ 関西大学で12月2-4日に行われる2015年度年会の準備状況が報告された。現地委員会の負担軽減のためのマニュアル化を行い、本年より利用している。
- ・ 講習会、セミナーの報告があった。10月セミナーは10/16に「1日で学ぶ炭素材料の解析法」として開催した。1月セミナーは、1/16に炭素微粒子に関する話題で開催する。
- ・ CARBON2020を日本で開催するための基礎情報収集を行っている。来年アメリカで開催するCARBON2016で、具体的な開催案、予算計画などを提示し、アピールを行いたい。
- ・ 次世代の会の活動に学会からの援助を行うことが予算計画でも承認された。
- ・ 2016年度の事業計画については、11/13に開かれた評議委員会で審議・承認され、総会で報告される予定である。
- ・ 117委員会との連携について、年会で117委員会の案内チラシを予稿集とともに配布し、年会初日に委員会紹介プレゼンを行うことを決定した。また、2016年に開催予定の日仏セミナーへの資金的補助も決定した。
- ・ マイナンバー制度への対応が必要な状況であるが、他学会の動向も見ながら、次年度くらいまでに規定を作成することを検討している。

※曾根田会員 (学会編集委員長) より以下の報告があった。

- ・ 11月発刊の270号（特集号「グリーン科学・技術に関わる炭素材料」）が予定より遅れた。年会プログラムが掲載されることもあり、お詫び申し上げます。
- ・ 投稿論文数は少ない状況である。

※白石会員より、12/4の炭素材料学会年会最終日に、今年も次世代の会定例会で講演会が開催されることが紹介された。講演会については、年齢に関係なく、年会参加者であれば誰でも参加が可能とのこと。

(2)国際会議関係 特に報告なし

(3)CARBON誌関係 特に報告無し

(4)その他報告

- ・ 大規模災害などで委員会開催を急に中止しなければいけないときの対応について、まず、ホームページでできるだけ早く中止の案内を掲載し、その後の対応を随時メール等で連絡する旨が案内された。

(以上)